

木野雅之スケジュール 2006年4月～2006年9月

Table with columns: 日付, 日時, 公演名, 場所, 共演者, 曲目. Contains a detailed schedule of performances from April to September 2006.

まさゆき新聞

M A S A Y U K I S H I N B U N

編集・発行：まさゆき倶楽部事務局

まさゆき倶楽部事務局 東興華空間 目黒区柿の木坂3-3-1 TEL03-3414-7562 FAX03-3410-5130

桜の季節にしてはいつものより何となく寒く、そんな気候のせいか花も咲き続けている今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか？

木野雅之

苦い響きの背景を知る

また杉並公会堂のオープンも近く、そちらのコンサートにも皆様には是非いらしていただきたく思います。



レクチャーコンサートの講師伊東信宏

(左) とトリオ・ミンストレルのメンバー

奏が、また実に刺激的だった。とりわけシヨスタコーヴィチのピアノ三重奏曲第2番は、ユダヤ人の音楽が用いられているこの曲の様相は、ユダヤ人やシヨスタコーヴィチを含む多くの20世紀の人々が受けた苦難のドキュメントである。

音楽そのものを楽しませつつ、それが持っている歴史や経験の厚みへと目を向けさせてくれるものだった。なるほど、「音楽とは音を楽しむもの」には違いない。けれども、それだけのものでもないのだ。

草津紀行

暮れの押し迫った12月29日30日その年の最後の演奏会を群馬県草津温泉中沢ヴィレッジ



で行なった。大抵の所へは行っている自分にとって初めての場所であり大いなる期待を持って楽しみに出掛けていった。12月28日サントリーホールでの私のコンサート終了時間にピアニストの平沢匡朗氏に車で迎えに来てもらいそこから二人で草津に向かった。みるみるうちに雪景色に染まりいよいよ近づいてきた実感がわいてきた。あたりはかなり寒く着いてからの温泉がますます楽しみになっ

てきた。夜中12時過ぎに到着。自分もコンサートの後で疲れたのもあるが運転した平沢氏もかなり疲れたであろう。さっそく二人で温泉に入りその日はすぐに休んだ。翌日は午前中にゆっくり合わせを行い午後草津の中心地 湯畑や町の公衆浴場 土産物屋などに掛けた。テレビや映画でしか見たことなかった町の雰囲気は実際に見ると味わいがあり感動的であった。夜、リサイタルには大勢集まり会場はいつぱいの聴衆で盛り上がった。プログラムには平澤氏のソロも交えし、ばし私も彼の演奏を楽しむことができた。終演後は聴衆の方々としばし懇親のあと食事。そして温泉のあとは翌日の昼のコンサートにむけ軽く一杯やる。雪見酒は最高の気分であった。次の日 昼間のコンサートも無事終了彼と再び途中酒蔵等寄り道しながらゆつくりと帰路に着いた。年の終わりに最高に楽しいコンサートを味わ

う事のできた3日間であった！（木野雅之）

男？女？

私は四十数年間 小学校の音楽専科教師をしました。



ろつとしていました。すると子どもたちは 見慣れない子が音楽室にいるとゆうので かわるがわるのぞきにやってきました、そしてその中の一人の女の子が私の耳元でソツと『この子は男なの？女の？』と真剣な顔で質問したのです。

「この子は男なの？女の？と真剣な顔で質問したのです。ほっそりとした顔や体つきが女の子のようにも見えただけでしょう。」

力士がヴァイオリンを弾いているのかな？と思われるほどふくらんでしまった今では 想像もできないかもしれませぬ。（木野慶三）

まゆみき応援歌

去る3月12日、19日、2週連続演奏会が延べ150名の参加を得、盛会の内に終わりました。

幾つかの音が寄せられました。まとめて記します。

私達のはじめて木野さんを知りましたのは、上野美術館の帰りに、何気なく

第19号 文化会館小ホールへ立ち寄った時、15年も前のことです。その時何とよい音色を弾く人なのだろうと心に強く残りま

した。以来近しく今回の素晴らしいバツハとバガニーニを聴くチャンスに恵まれ感謝です。

ライブはいいね。CDと違った良さに癒されました。

王子ホ



ールでバガニーニを聴いたのが初めてのです。

あの時は難しいと思いましたが、今日はとてもいい音楽として聴くことができました。先週3月12日13日が聴けなくて残念でした。パルティータとバガニーニを合せて弾くなんて、すごいとしか云いようが無いですね、木野さんのパワーに脱帽。どんな演奏会ときも、常に自分達だけのために弾いてもらっている気持ち

で居ります。

CDがでて、特にパルティータの最初の音を聴いたとき、いきなり心を鷲掴みにされた気分でした。沢山木野さんの音を聴いて来たのにあの時は初めて出会ったような音として虜になりました。目に見えない音の向こう側から無言で訴えているようで……。今回は、ライブの開放感が美しい旋律も伝わって、とてもいい演奏が聴けました。

☆ 今回の企画について？の問いに木野さんは……。重要な対極にある二人の作曲を自分としてどこまで真摯に向き合えるか、深い精神性、又高度なテクニクと新しい音楽表現に近づけるか、常に学ぶのみで

Hakuba Music Seminar

第10回 白馬ミュージックセミナー 木野雅之 Masayuki Kino

ヴァイオリン演奏における解釈とヴィルトゥオーゾティーについてのマスタークラス

2006年 8月22日(火)～8月28日(月) マスタークラス
8月22日(火)～8月29日(火) マスタークラス+アンサンブルクラス

●会場・宿泊先/マスタークラス 白馬ハイマウントホテル
長野県北安曇郡白馬村和田野の森 tel: 0261-72-6114
アンサンブルクラス アウゼリゾート
長野県北安曇郡白馬村北城4855-1 tel: 0261-72-2558

●参加費/マスタークラス118,000円(税込)
マスタークラス+アンサンブルクラス139,000円(税込)
毎日のレッスン・ピアノ合せ・リサイタルチケット・コンサート出演費
朝夕食・宿泊費等が含まれます。

●定員/18名 ●受講曲/自由
●お申込み期限/2006年5月20日 聴講生参加も可(1日3,500円)
(付き添い及びリサイタルにご来場の方の宿泊も受け付けています)

●ピアニスト/水月 恵美子

●木野 雅之ヴァイオリン・リサイタル ピアノ：水月 恵美子
2006年8月26日(土) 19:00～ ラフォーレ白馬美術館

●受講生によるコンサート
無伴奏コンサート 8月25日(金) 19:00～ 和田野の森教会
マスタークラス 8月27日(日) 13:00～ ラフォーレ白馬美術館
アンサンブルクラス 8月29日(火) 14:00～ アウゼホール

主催：(株)サウンド&ミュージック クリエーション
後援：(財)日本フィルハーモニー交響楽団・日本フィルハーモニー協会
信濃毎日新聞社・(株)レッスンの友社・(株)ヤマハミュージック東京
(株)プリマ楽器・白馬村・白馬村教育委員会
協力：NPO法人レジーナ・チェーリ芸術振興会
ラフォーレ白馬美術館・和田野の森教会・白馬ハイマウントホテル・アウゼリゾート

お申込み・お問合せ：(株)サウンド&ミュージック クリエーション <http://www.s-music-c.co.jp/>
川崎市宮前区野川3020-10 TEL./FAX.044-788-1727 E-mail:s.music.c@violin.ocn.ne.jp

